



Plus RMA



第14号
2023/7/14
一般社団法人 RMA

🏆 CONTENTS 🏆

🏆 ISO 15189改定特別講演会報告	関 顯	2
🏆 ニーズを創り出すWaitingセンス	宮川 雅明	4
🏆 RMA理事会体制	植松 慶生	5
🏆 RMA 2023年度セミナー開催予定表		6
🏆 事務局だより		10

ISO 15189 改定特別講演会報告

「検体検査の品質・精度確保に係る医療法等の改正と対応」

一般社団法人 RMA 理事
関 顯

ISO 15189「臨床検査室—品質と能力に関する要求事項」の第3版発行から約10年ぶりに第4版が2022年12月にISOより発行され、今年6月には英和対訳版が日本規格協会から発売されました。

今回、RMAでは、臨床検査関係者への改定内容を広く周知することを目的に「ISO 15189 改定特別講演会」を7月12日に東京・品川の品川区立総合区民会館「きゅりあん」で開催し、厚生労働省医政局地域医療計画課 医療関連サービス室からの2名を含め112名の参加者がありました。司会は、RMA理事で日本臨床検査標準協議会ISO/TC 212 国内検討委員会委員でISO 15189 第4版の翻訳を担当した関が担当しました。

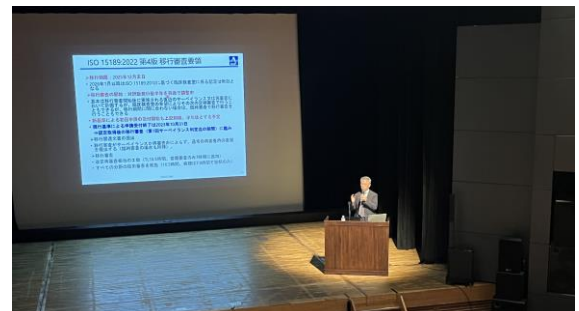


基調講演では、国内外で長年にわたり本規格の作成に携わり、ISO 15189 第4版の翻訳において中心的な役割を担った新渡戸文化短期大学学長・教授の宮地勇人先生による「新ISO 15189の

概要紹介と変更点：臨床検査室の視点」の講演がありました。講演では第4版はISO 9001:2015とISO/IEC 17025の強みの反映に加え、①患者に焦点②リスクに基づく考え③プロセスの重視について解説がありました。



引き続き、講演IIは、「審査の立場」から日本適合性認定協会(JAB)執行役員 LAB 認定ユニット長の下田勝二先生から「ISO 15189:2022 移行審査及びフレキシブルな認定の注意点」の講演がありました。具体的な移行手順や期限、審査などの留意事項を示しました。第4版の移行審査の申請受付は11月1日から開始する。また、第3版からの移行期限は2025年12月31日に設定し、それまでに移行審査が完了していることを求めている。現



行の第3版に基づく申請受付は2023年10月31日で終了し、第3版に基づく認定は2026年1月以降、無効となるという説明がありました。

講演2では、「品質マネジメントシステムを構築する立場」から東京女子医科大学病院中央検査室技師長、附属足立医療センター検査科技師長の三浦ひとみ先生による「ISO 15189 2022年版への対応状況」の講演がありました。すでにISO 15189の認定を取得している検査室の規模及び品質マネジメントシステムの紹介があり、第4版の要求事項に対する具体的な方針・目的の設定から移行審査受審までのスケジュールおよび作業と課題の説明がありました。



パネルディスカッションでは、本国際規格審議・作成の立場、審査する立場、システムを構築する立場の3名の演者（パネリスト）に司会（コーディネータ）から「ISO 15189の改訂内容」についての質問があり、それぞれの立場のパネリストからの回答、フロアを交えてのパネルディスカッションが開始されました。その結果『ISO 15189:2022では指示記述からパフォーマンス、プロセスベースになった。これにより、各検査室が活動しやすい手順を自身の責任において設定し、それに従い運用できることになった。検査室は、最高のパフォーマンスを得るためのマネジメントシステムを構築しなければならない。』とまとまりました。

続いて「リスクマネジメント」についてコーディネータから3名のパネリストに質問があり、フロアを交えてのディスカッションの結果『ISO 9001:2015のリスクに基づく考え方が導入されている。リスクとはインシデント、アクシデントとは異なる概念で、臨床

検査室は、患者の福祉(welfare)からウェルビーイング(幸福・福利)を中心の常にリスクを考慮したマネジメントシステムを構築しなければならない。そのためには①臨床的な視点②内部精度管理の理解③リスクマネジメントの理解が必要である。リスクを評価するには情報収集と分析が欠かせず、潜在的リスクを的確にとらえ対処することで検査室にとって適切な手順を構築しなければならない。また、検査室を評価する審査員には研修だけでなく自らがリスクマネジメントの実務経験が必要である。』とまとまりました。

参加者からは、ISO 15189改定の背景と要求事項のポイントが理解でき、具体的に必要な活動内容が明確になったことへの満足した声が聞かれました。



RMAとしては、今回の特別講演会で参加者の臨床検査の品質マネジメントに対する理解と意識を少しは促せたかと考えています。

ご参加頂きました皆様、パネリストに心より御礼申し上げます。RMAでは、これからも皆様のご意見をもとに特別講演会、セミナーの開催を予定しております(<https://rma.tokyo/>)。ご参加を心よりお待ちしております。



ニーズを創り出す Waiting センス

一般社団法人 RMA 理事
経営コンサルティング会社代表取締役
英国国立ウェールズ大学 (UWTSD) 大学院特定教授
一般社団法人 手袋衛生協会 代表理事
一般社団法人 ギグワーカー理事
宮川 雅明

永く新規事業開発のコンサルティングをしています。心掛けることは5年先や10年先をイメージすること。先を観るのではなく、先に行っていて、今を眺める。Forecastという感覚ではなくWaitingという感覚です。

欧州では環境規制が毎年厳しくなり、この素材・材料はNGというのは日常的に出てくる印象があります。しかし、新たな材料で既存製品を作るには時間を要します。

2年前になるでしょうか。フランスでは「修理する権利」が一般化され、顧客自身で修理できるかどうかを国の機関が定量評価しています。部品がなければ3Dプリンターで作る。高齢者でも容易に超わたりやすく修理できる動画が用意されています。

「戦略の窓」という概念があります。常に機会が開かれている訳ではなく、ある時期を過ぎると閉じ

てしまいます。窓が開く前に準備をしておく必要があります。窓が開いた時、急ピッチでサプライチェーンを再構築して製品化し売り込んでも既に手遅れ。他社品に取られています。仮に入り込めたとしても、先発企業より低価格が条件となり、コモディティ・トラップに陥ります。

全ての企業とはいませんが、このスピード感覚というのがどうも欠如している印象があります。

リサーチ機能(部門)がない、ファーストムーバーという挑戦(マインド)がない、というのが私の印象です。

仕事を待っている、来た仕事を一生懸命にやっていたらよいというのは、駄目です。大昔、ドラッカーは言っていました。企業の唯一の機能(役割)はニーズを創り出すこと(イノベーション)である。



みずばしよ

2023 年度 RMA 理事会体制について

一般社団法人 RMA 代表理事
植松 慶生

2023 年 3 月 16 日臨時社員総会で承認されていた理事候補者（社員）4 名及び監事候補者 1 名について同 5 月 30 日の社員総会において、理事及び監事として選任され、引き続き行われた理事会において、代表理事、常務理事の選出を行った結果、2023 年度の RMA 理事体制は 2022 年度に引き続き次のとおりとなりました。

役職	氏名	主な担当業務
代表理事	植松 慶生	経営・事業全般 グローバル展開、規格関連活動担当 個別支援業務担当（主として機械・物理分野）
常務理事	望月 康平	主としてISO/IEC 17025に係る事業企画及び運営担当 化学・食品分野/領域のセミナー等講師担当 個別支援業務企画運営（主として化学・食品分野） その他特命事項
理事	関 顯	主としてISO 15189に係る事業企画及び運営担当 臨床検査分野/領域のセミナー等講師担当 RMA内情報セキュリティ統括 その他特命事項
理事	宮川 雅明	経営戦略、マーケティング、リスク・マネジメントに係る事業企画及び運営担当 上記分野のセミナー等講師担当 RMAウェブ等コミュニケーション統括 その他特命事項
監事	飴村 彰	理事の業務執行状況の監査 業務及び財産の状況調査

事務局長 田中隆及び事務局次長 吉田基子を始めとする事務局要員も 2022 年度に引き続き 5 名体制を維持しています。

RMA 2023年度 対面型セミナー 開催予定表 1/2

No.	対面型セミナー ※コロナウィルス感染症の影響でセミナー日程が変更になる場合がございます。	会場	受講料 (消費税込)		2023年度														
					2023年										2024年				
					上期					下期									
					会員	非会員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	

規格解説セミナー

					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	第70回 ISO/IEC 17025 規格解説と運用セミナー(東京) “要求事項の解釈はこれでいいの?—判断の難しい事例を踏まえて”	東京	¥33,000	¥66,000			6/30									
2	第71回 ISO/IEC 17025 規格解説と運用セミナー(東京) “要求事項の解釈はこれでいいの?—判断の難しい事例を踏まえて”	東京	¥33,000	¥66,000						9/6						
3	第72回 ISO/IEC 17025 規格解説と運用セミナー(大阪) “要求事項の解釈はこれでいいの?—判断の難しい事例を踏まえて”	大阪	¥33,000	¥66,000							10/3					
4	第73回 ISO/IEC 17025 規格解説と運用セミナー(東京) “要求事項の解釈はこれでいいの?—判断の難しい事例を踏まえて”	東京	¥33,000	¥66,000										1/17		

内部監査員養成セミナー

					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
5	第99回 ISO/IEC 17025 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(2日)(東京)	東京	¥66,000	¥132,000		5/18 19										
6	第100回 ISO/IEC 17025 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(2日)(大阪)	大阪	¥66,000	¥132,000			6/22 23									
7	第101回 ISO/IEC 17025 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(2日)(東京)	東京	¥66,000	¥132,000				7/25 26								
8	第102回 ISO/IEC 17025 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(2日)(東京)	東京	¥66,000	¥132,000						9/21 22						
9	第103回 ISO/IEC 17025 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(2日)(大阪)	大阪	¥66,000	¥132,000							10/19 20					
10	第104回 ISO/IEC 17025 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(2日)(東京)	東京	¥66,000	¥132,000									12/7 8			
11	第105回 ISO/IEC 17025 ラボラトリーのための内部監査員養成セミナー(2日)(東京)	東京	¥66,000	¥132,000											2/6 7	
12	第3回 ISO/IEC 17025 内部監査リーダー養成セミナー(2日)(東京)	東京	¥66,000	¥132,000								11/9 10				

不確かさセミナー

					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
13	2023年版 不確かさにおける基礎から応用までセミナー(東京)	東京	¥33,000	¥66,000				7/7								
14	2023年版 不確かさにおける基礎から応用までセミナー(大阪)	大阪	¥33,000	¥66,000				7/21								
15	第8回 基本モデル事例で理解する不確かさ演習セミナー(東京)	東京	¥33,000	¥66,000									12/12			

食品、微生物分野セミナー

					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
16	第19回 食品・生物系試験所のための内部監査員養成セミナー(東京)	東京	¥33,000	¥66,000							10/4					

RMA 2023年度 対面型セミナー 開催予定表 2/2

表内●印のセミナーは日程調整中です。決定次第ウェブサイトの予定表 (https://rma.tokyo/pdf/seminar_schedule_2023.pdf) を更新します。

No.	対面型セミナー ※コロナウイルス感染症の影響でセミナー日程が変更になる場合がございます。	会場	受講料 (消費税込)		2023年度											
					2023年						2024年					
					上期						下期					
					会員	非会員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月

臨床検査分野セミナー

					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
17	第1回 ISO 15189:2022 規格解説セミナー(1.5日)(東京)	東京	¥49,500	¥99,000	4/22 23											
18	第2回 ISO 15189:2022 規格解説セミナー(1.5日)(東京)	東京	¥49,500	¥99,000		5/24 25										
19	第3回 ISO 15189:2022 規格解説セミナー(1.5日)(東京)	東京	¥49,500	¥99,000			6/23 24									
20	第4回 ISO 15189:2022 規格解説セミナー(1.5日)(東京)	東京	¥49,500	¥99,000				7/15 16								
21	第5回 ISO 15189:2022 規格解説セミナー(1.5日)(東京)	東京	¥49,500	¥99,000					8/26 27							
22	第6回 ISO 15189:2022 規格解説セミナー(1.5日)(大阪)	大阪	¥49,500	¥99,000						9/2 3						
23	第7回 ISO 15189:2022 規格解説セミナー(1.5日)(東京)	東京	¥49,500	¥99,000							10/14 15					
24	第8回 ISO 15189:2022 規格解説セミナー(1.5日)(東京)	東京	¥49,500	¥99,000								11/11 12				
25	第9回 ISO 15189:2022 規格解説セミナー(1.5日)(東京)	東京	¥49,500	¥99,000									12/2 3			
26	第10回 ISO 15189:2022 規格解説セミナー(1.5日)(東京)	東京	¥49,500	¥99,000										●		
27	第11回 ISO 15189:2022 規格解説セミナー(1.5日)(東京)	東京	¥49,500	¥99,000											●	
28	第12回 ISO 15189:2022 規格解説セミナー(1.5日)(東京)	東京	¥49,500	¥99,000												●
29	第1回 ISO 15189:2022 規格改定解説セミナー(東京)	東京	¥33,000	¥66,000	4/21											
30	第2回 ISO 15189:2022 規格改定解説セミナー(東京)	東京	¥33,000	¥66,000		5/26										
31	第3回 ISO 15189:2022 規格改定解説セミナー(東京)	東京	¥33,000	¥66,000			6/9									
32	第4回 ISO 15189:2022 規格改定解説セミナー(東京)	東京	¥33,000	¥66,000				7/23								
33	第5回 ISO 15189:2022 規格改定解説セミナー(東京)	東京	¥33,000	¥66,000						9/1						
34	第6回 ISO 15189:2022 規格改定解説セミナー(大阪)	大阪	¥33,000	¥66,000						9/23						
35	第7回 ISO 15189:2022 規格改定解説セミナー(東京)	東京	¥33,000	¥66,000							10/13					
36	第8回 ISO 15189:2022 規格改定解説セミナー(東京)	東京	¥33,000	¥66,000								11/17				
37	第9回 ISO 15189:2022 規格改定解説セミナー(東京)	東京	¥33,000	¥66,000									12/15			
38	第10回 ISO 15189:2022 規格改定解説セミナー(東京)	東京	¥33,000	¥66,000										1/26		
39	第11回 ISO 15189:2022 規格改定解説セミナー(東京)	東京	¥33,000	¥66,000												3/1
41	第9回 臨床検査室のための内部監査員養成セミナー 基礎編(2日)(東京)	東京	¥66,000	¥132,000							10/24 25					
42	第6回 ゼロから学ぶ臨床検査の統計学 基礎編(半日)(東京)	東京	¥16,500	¥33,000								11/8				
43	第5回 問題解決のための効果的な是正処置と運用セミナー(半日)(東京)	東京	¥16,500	¥33,000						9/27						

製品認証セミナー

					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
44	第1回 ISO/IEC 17065と製品認証(半日)(東京)	東京	¥16,500	¥33,000						9/29						

RMA 2023年度 オンラインセミナー 開催予定表 1/2

No.	オンラインセミナー	会場	受講料 (消費税込)		2023年度											
					2023年						2024年					
					上期			下期			上期			下期		
					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月

規格解説セミナー

					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1	第13回 知っておきたいISO/IEC 17025の基礎(担当者コース/Basicコース)(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000	4/14											
2	第14回 知っておきたいISO/IEC 17025の基礎(担当者コース/Basicコース)(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000		5/30										
3	第15回 知っておきたいISO/IEC 17025の基礎(担当者コース/Basicコース)(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000					8/8							
4	第16回 知っておきたいISO/IEC 17025の基礎(担当者コース/Basicコース)(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000								11/7				
5	第17回 知っておきたいISO/IEC 17025の基礎(担当者コース/Basicコース)(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000											2/29	
6	第9回 一歩進んだISO/IEC 17025の活用(ラボ管理者・中堅要員コース/Advancedコース)(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000		5/12										
7	第10回 一歩進んだISO/IEC 17025の活用(ラボ管理者・中堅要員コース/Advancedコース)(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000			6/9									
8	第11回 一歩進んだISO/IEC 17025の活用(ラボ管理者・中堅要員コース/Advancedコース)(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000					8/30							
9	第12回 一歩進んだISO/IEC 17025の活用(ラボ管理者・中堅要員コース/Advancedコース)(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000								11/21				
10	第13回 一歩進んだISO/IEC 17025の活用(ラボ管理者・中堅要員コース/Advancedコース)(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000												3/15

内部監査員養成セミナー

					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
11	第7回 ISO/IEC 17025 オンラインによる内部監査員実践セミナー(2日) — ロールプレイによる指摘演習 —	オンライン	¥66,000	¥132,000					8/24 25							
12	第8回 ISO/IEC 17025 オンラインによる内部監査員実践セミナー(2日) — ロールプレイによる指摘演習 —	オンライン	¥66,000	¥132,000								11/29 30				
13	第9回 ISO/IEC 17025 オンラインによる内部監査員実践セミナー(2日) — ロールプレイによる指摘演習 —	オンライン	¥66,000	¥132,000												3/5 6

試験技術セミナー

					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
14	第5回 その測定数値、自信をもって説明できますか?	オンライン	¥33,000	¥66,000			6/5									
15	第6回 その測定数値、自信をもって説明できますか?	オンライン	¥33,000	¥66,000									12/5			
16	第6回 ラボラトリマネジメントのためのISO/IEC 17025(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000					8/7							
17	第7回 ラボラトリマネジメントのためのISO/IEC 17025(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000										1/22		
18	第5回 オンラインで学ぶゲルマニウム検出器によるガンマ線スペクトロメトリ(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000			6/29									
19	第5回 試験所における計量トレーサビリティの確保と内部校正の利用(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000						9/20						
20	第6回 試験所における計量トレーサビリティの確保と内部校正の利用(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000										1/18		
21	第3回 試験所(化学分野)における精度管理の基本的な考え方(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000							10/2					
22	第4回 試験所(化学分野)における精度管理の基本的な考え方(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000												3/8

不確かさセミナー

					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
23	聞いて、見て、やってみよう 2023 不確かさセミナー	オンライン	¥33,000	¥66,000		5/26										
24	聞いて、見て、やってみよう 2023 不確かさセミナー	オンライン	¥33,000	¥66,000							10/6					
25	現場で役立つ 2023 不確かさセミナー・検量線・校正直線を用いた時の不確かさ評価	オンライン	¥33,000	¥66,000												2/6

RMA 2023年度 オンラインセミナー 開催予定表 2/2

No.	オンラインセミナー	会場	受講料 (消費税込)		2023年度											
					2023年						2024年					
					上期						下期					
					会員	非会員	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月

食品、微生物分野セミナー

					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
26	第3回 食品分析の品質保証と不確かさー理化学試験を中心としてー	オンライン	¥33,000	¥66,000			6/21									
27	第4回 食品分析の品質保証と不確かさー理化学試験を中心としてー	オンライン	¥33,000	¥66,000								11/1				
28	第3回 微生物試験結果が妥当であるための要件	オンライン	¥33,000	¥66,000				7/19								
29	第4回 微生物試験結果が妥当であるための要件	オンライン	¥33,000	¥66,000											2/14	

臨床検査分野セミナー

					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
30	第3回 臨床検査室のための内部監査員養成セミナー 基礎編(1日+1日)	オンライン	¥66,000	¥132,000					8/2 9							
31	第6回 臨床検査室で役に立つ標準作業書作成セミナー(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000			6/28									
32	第3回 効果的な教育・訓練システム構築のためのセミナー(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000											2/21	
33	第3回 臨床検査の不確かさの基本(ISO15189対応)と検体検査値の妥当性チェックの仕方	オンライン	¥33,000	¥66,000								11/28				

マネジメントセミナー

					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
34	第1回 ケースで学ぶリスクマネジメント～対策と機会創出～(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000						9/8						
35	第9回 オンラインで学ぶラボラトリのリスクマネジメント(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000							10/31					

製品認証セミナー

					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
36	第1回 オンラインで学ぶISOによる製品認証と認証スキーム(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000				7/28								
37	第1回 オンラインで学ぶISO/IEC 17000の適合性評価とファンクショナル・アプローチ(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000												3/29

試験所経営セミナー

					4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
38	第1回 信頼性マーケティング(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000				7/10								
39	第1回 試験所経営を考える(半日)	オンライン	¥16,500	¥33,000											2/19	

事務局だより

2023年度のセミナー開催予定を更新しました

2023年度のRMAセミナー（対面型、オンライン）の予定を6～9ページに掲載しました。

日程が未定（日付欄が●）となっているセミナーにつきましては決定次第、RMAウェブサイトのトップページ（<https://rma.tokyo>）の「セミナー予定表」を更新します。

他、セミナーの追加や変更がある場合はウェブサイトで随時お知らせします。

対面型セミナーにおけるマスク着用につきまして

昨年度まで、対面型セミナーを受講される皆様にマスクの着用をお願いしておりましたが、本年度よりマスク着用を任意といたします。RMA職員は当面マスク着用で対応させていただきます。

2023年度 7月～10月新規開講セミナーのお知らせ

7月～10月に新しく開講するセミナーをご紹介します。

1) オンラインで学ぶISOによる製品認証と認証スキーム

今年度は7月28日に1回オンラインで開催予定です。

最近、「認証スキーム」という言葉をメディアで目や耳にしたりすることはありませんか。認証に係わっている人ならば、気になる言葉でしょう。しかし、その本質を一言で言い当てるのは、難しいかもしれません。本セミナーでは、認証の仕組みや役割の理解を深めながら、認証スキームとは何かを考えます。スキームに必要な要件を挙げ、スキームを所有するスキームオーナーの影響力についても言及します。ISOにも、ISO/IEC 17067 (JIS Q 17067) という規格があり、製品認証スキームの指針が書かれています。製品認証機関に対するISO/IEC 17065規格とペアになる規格と言ってもいいでしょう。認証スキームなくして認証を運用することは、出来ません。認証スキームとは認証を実施・運用（認証システム）するためのプラットフォームです。スマホに例えるならば、アプリを認証システムとすれば、認証スキームとはアプリを動かすオペレーティング・システムと呼んでもいいかもしれません。認証スキームを理解することにより、認証の構造を学び、認証により何が得られ、社会の要請に認証スキームが果たすべき役割は何かを学びます。

2) ケースで学ぶリスクマネジメント～対策と機会創出～（オンライン）

今年度は9月8日に1回オンラインで開催予定です。

- ・VUCA時代においてリスクマネジメントはベーシックな知見といえます。
- ・リスクマネジメントをコストと捉えるのではなく、戦略ととらえます。
- ・当セミナーでは、様々なケースを通じてリスク・センスを養います。
- ・試験所に限定したものではありません。リスクマネジメントという知見から試験所を眺めることです。

3) ISO/IEC 17065と製品認証(対面)

今年度は9月29日に1回東京で開催予定です。

製品認証という言葉を目にする機会も増えてきたのではないのでしょうか。ISO 9001がマネジメントシステム認証の基礎になっているのはよくご存じでしょう。RMAの会員の方なら、ISO/IEC 17025に基づく試験所認定はお馴染みでしょう。製品認証ならば、ISO/IEC 17065を抜きに考えられません。

ISO/IEC 17065のコアとなる考え方を通じて、製品認証とはどういうものかを理解してもらいます。製品認証というのは、製品に関わる認証のことですから自分たちのビジネスに大きく影響を与えるものです。マネジメントシステムと製品認証は、どう違うのか。違いを理解することにより、認証の特徴を上手く活用でき、ISOがぐっと身近に感じます。ISO/IEC 17025と製品認証、ISO 9001と製品認証が連携して使われる例もあります。認証、認定をどのように考え、活用したらいいのか、使われ方の例を知ってみたい方々に最適なセミナーです。少人数で思うままに尋ねることが出来き、気楽な雰囲気の中で、試験成績書の役立て方や製品認証の世界を理解していただけます。

セミナーのお申し込みは開催日の
約3か月前から可能です。
お申し込みお待ちしております！



編集 後記

この夏もとても暑くなりそうです。皆様、暑すぎる夏、どのように過ごされていますか。

私は冷房の効いた部屋に籠ってしまうことも多いですが、汗を掻き掻き辛い物を食したり、あえて暑さ対策をして野球場に高校野球応援をしにいたり自分なりの楽しみをみつけて過ごそうと思います。今年はずっと開催されなかった花火大会も各地で再開されるとのこと。

皆様もどうかお体にお気をつけて、暑い夏を乗り切りましょう。

事務局 編集担当 中澤

発行：一般社団法人 RMA

東京都品川区西五反田1丁目11-1
アイオス五反田駅前 502号

☎03-6417-3400

✉jimukyoku@rma.tokyo

🌐https://rma.tokyo